

豊次雄
(新国会)

安中市の財政状態・安中市人口ビジョン・人口減少にとるべき対策・「事務用品・消耗品・備品等の市内調達の状態」について

安中市の財政状態について

問 人件費、公債費、その他の義務的経費割合は。

答 義務的経費割合は、予算の約六割で、今のところ健全性は維持されています。

問 想定される、中短期の予算減と課題は。

答 普通地方交付税と地方法人課税への偏在是正により、平成三十年には十四億円の減収、今後人口減少や福祉関連予算増などで大きな課題があります。

人口ビジョンについて

問 人口減少、少子高齢化の課題は。

答 人口減少、少子高齢化の影響として、税収減による行政サービスの水準低下と非効率化、空き家増、学校の統廃合や地域コミュニティの機能低下が懸念されます。

問 人口減少にとるべき対策について
税収増、人口増をどうやって

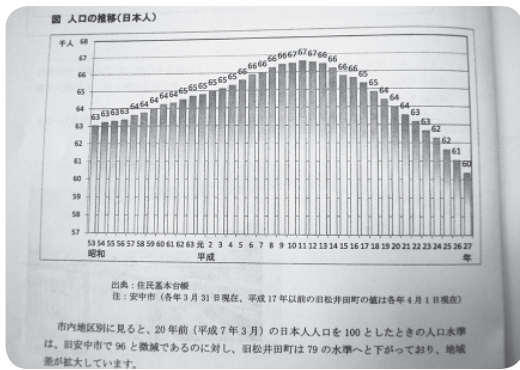
図っていくのか。

答 優良企業の市内誘致を積極的に行い、市内就労を増やし、快適で安心な居住地として選ばれる政策を行っていきます。


事務用品、消耗品、備品等の市内調達の現状について

問 考え方と対応については。

答 地域経済への貢献、後継者の育成の観点から、市内事業者を優先的に指名し、この方針を引き続き堅持していきます。



人口推移のグラフ



上原 富士雄
(公明党)

平成二十八年新年度新規事業の六次産業化事業・この夏の参議院選挙からの十八歳選挙権・緊急事態における救急指定病院のあり方について

新規事業の六次産業化について

問 農産物の六次産業化で安中ブランドや、具体的な事業の推進並びに、首都圏等への展開は。

答 JA碓氷安中が上州ネギを商標登録し市場から高評価を得ています。夏秋ナスは全国一位の生産量の県を支え、□マネスコ・プチヴェールの生産量が増えコンニャクは県内有数です。農家等でグループを作り、加工や販売・サービスまで行い、付加価値を付け、県のブランド推進課と連携し首都圏へも展開します。

参院選挙の十八歳選挙権について

問 高校生や若者への制度の周知や、投票率向上への目標認識は。

答 世界大多数の国の選挙年齢が十八歳以下です。民主主義の土台強化や財政再建等で若者の声が活かされると認識し、安中総合学園で模擬投票を実施しました。投票率向上への目標は意識改革に有効で今後研究します。

救急指定病院のあり方について

問 碓氷病院のあり方検討委員会は、緊急時の救急医療の実態は。

答 十五名で構成し七月から現在まで五回開催。内容は現状認識・救急患者受入れ体制・医師確保・職員の意識改革・現状での診察や入院・透析の対応策・民間病院との連携・経営改善で七項目に亘り病院改善の方針を決定。救急搬送は消化系五十九、呼吸器と脳疾患四十二、心疾患三十六と収容患者の約半数です。



選挙についての出前講座